

新年挨拶

町民の皆さまがた、明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと存じます。2018年が幸多き1年でありますよう心からご祈念申し上げますとともに、本年も皆さまのお力添えにより明和町政が一步、一步、前に進んで行けますようご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

昨年は、私が掲げる『着実に歩み続けるまちづくり』『確実に安心できるまちづくり』『誠実なまちづくり』の準備の年と位置づけ、新たな工業団地の造成や新しい企業の誘致など、当町の将来にとって重要な課題について、確かな道筋をつけることができた年となりました。

【工業団地の整備・雇用の創出】

アドバンテスト南に日本基礎技術(株)を誘致し、凸版印刷(株)の南に14.6ヘクタールの工業団地を造成して、誘致企業を1部上場のトーモク(株)と決定いたしました。

入ヶ谷南地区に、約14ヘクタールの工業団地を造成することにも道筋がつき、平成31年の市街化区域編入を目指しております。また、東北自動車道に跨る東部地区の開発についても、群馬県から承認を受け、地元アンケートを実施した結果、反対はありませんでしたので、昨年12月に地元説明会を開催し、平成32年市街化編入に向けて前進をしている所であります。

【地域包括ケア・福祉のまちづくり】

現在、力を注いでいるふれあいセンターは、高齢者の方の憩いと健康増進、放課後の学童保育、乳幼児の遊びや保護者の子育て、町民の皆さまの学習及び発表の場など、多世代の人が集う多機能・多目的な施設です。既に東部地区には、ふれあいセンタースズカケが竣工し、現在、西部地区に同ポプラを建設しております。このふれあいセンター2カ所の竣工を機に、地域包括支援機能を設け、役場と連携した東部・中部・西部の地域包括ケアシステムを立ち上げ、高齢者のかたや障がい者のかたが安心して暮らせる明和町の実現を図ってまいります。

【U・I・J・孫ターンを総称してMターン】

今年のテーマは、地域包括ケアシステムの活用と、ふれあいセンターを中心とした地区計画による人口増を目指すことです。地域の開発申請の簡略化・多様化により、多くの皆さまに、居住空間の提供を行いたいと考えています。そして、多くの町民が永住できるよう企業誘致を活発化し、勤務先を確保し、Uターン・Iターン・Jターン・孫ターンのJUI（孫のM）を総称して（繋げて）Mターンと名付け、今後、Mターンをして明和町に住むかたに奨励金を支給して、人口増政策に取り組んでまいります。

【町政20周年と新規事業】

今年は町政20周年事業も予定しております。その中身としましては、「あなたの夢を叶えます」事業、朝の巡回ラジオ体操誘致事業及び記念式典等を予定しています。そして、5月の連休明けから各地区の皆様と膝をつき合わせて色々な議論を行う地区別行政懇談会も行いたいと思います。また、ふるさと産業文化館のネーミングライツやこど

も園バスのラッピング広告等、多くの既存事業で企業協賛を狙い、財政の健全化を目指してまいります。

【道路網整備】

明和町国道122号バイパスが3月に竣工し、いよいよ開通します。そして、町では、川俣駅から真っ直ぐに工業団地に伸びる道路が夏頃には完成します。また、千代田町との経済創生連携協定により、これまで以上にスケールメリットを活かしたインフラ整備を推進していきます。東から、「東北自動車道 館林IC」、「東武伊勢崎線川俣駅」、「国道122号バイパス」、「二町の工業団地及び商業施設」、「利根川赤岩新橋関連道路」という各拠点を結ぶ広域軸の整備を行い、地域産業に大きく寄与する道路整備を行っていきます。しかし、この一路線では、混雑が予想されますので、アドバンテスト北側の道路を東に延ばし、入ヶ谷地区の南側を通り左にカーブしながら矢島の現在の農面道路の大カーブに結ぶ道路（工業団地線北回り）を整備します。

また、昭和ドライブイン跡地北側の西に延びる道路を真っ直ぐ西に伸ばし、新しくできる工業団地の南側にも122号バイパスにつながる道路を整備していきます。これにより、明和町と千代田町の工業団地へのアクセスがグンと良くなり、優良企業進出に拍車がかかります。

【環境行政の進展】

環境行政では、館林市・板倉町との共同によるゴミ処理を実現しながら、地域のより一層のゴミ処理の効率化を図ってまいります。既に昨年4月から、館林クリーンセンターと板倉リサイクルセンターは使用が開始されておりますが、明和町の最終処分場（めいわエコパーク）は今年から使用が開始されます。

【今年の意気込み】

今年は、これまで急ピッチで準備をしてきた施策が、実行段階へと入ってまいります。さらに「実」のあるものとなるように検証しながら、一層の改善を図りたいと思います。この地域からさらに魅力と価値を発信し、企業誘致を積極的に推進して、地元の人々が地元で働ける環境も整えていきたいと思います。

この流れを一層加速させ、私の揺るぎない信念である「住んで良かった。ずっと住み続けたい明和町の実現」のために皆さまと共に全力で取り組んでまいりたいと思いますので、皆さまのお力添えをよろしくお願いいたします。

【幸せな1年に！】

結びに、本年が町民の皆さま一人ひとりが、そして当町にとっても、素晴らしい飛躍の1年となりますよう心からお祈り申し上げ、新春の挨拶とさせていただきます。

皆さま、本年もよろしくお願いいたします。

平成30年 元旦

明和町長 富塚もとすけ